科目名称	ケーススタディ	学年学期	単位数	時間数
			1	15
担当教員	栗林　のり子	授業に関わる実務経験	■ 有 （ 看護師 ） □ 無	

【1】 授業概要

1.ケースについて得られた看護体験を、看護理論と照合し、文献を用いて普遍的考察に基づいて推論し、概念化する作業を通して、研究的態度や看護を論理的・科学的に考える能力を養う。

2.自分の関わりが患者さんに与えた影響の是非を、様々な角度から分析し、自分自身の看護のあり方について考える。

【2】 学習目標

1.各領域実習での経験や作成したケースレポートをもとに、指導教員の指導を受けて、一貫性のあるケーススタディをまとめることができる。

2.看護理論や文献を活用し客観性のある考察を行い、結論を導くことができる。

3.作成したケーススタディをもとに相互にクリティークを行い論文に対する批判的読み方ができる。

4.作成したケーススタディを、スライドを用いて口演できる。

5.ケーススタディ発表会の運営を協力して行うことができる。

6.ケーススタディをまとめることにより自分が行った看護を振り返ることができる。

【3】 第 2 看護学科ディプロマポリシーとの関連性

学習目標を達成することにより、次の能力を身につけることにつながります。

■ 1. 生活者としての人間の理解
■ 2. 人間を尊重した判断・行動
■ 3. 多様な価値観、共感的態度、倫理に基づいた看護実践
■ 4. 科学的根拠に基づいた看護実践
□ 5. 多職種連携・協働
□ 6. 地域医療の理解と支援
■ 7. 主体的な学習

【4】 授業計画

	内容	主な授業形態
1	講義オリエンテーション　ケーススタディの方法	講義
2	研究計画書・ケーススタディ作成	個人ワーク 個別指導
3	クリティーク	グループワーク
4	ケーススタディ修正	個人ワーク 個別指導
5	発表原稿・スライド修正	個人ワーク 個別指導
6	発表練習	
7	発表練習	
8	ケーススタディ発表会	発表会　口演

【5】 評価方法

1. ケーススタディをまとめるにあたっての態度 15 点　評価表に沿って評価
2. クリティークの参加度　5 点（学生相互評価）
3. ケーススタディの内容及び発表態度を評価表に沿って評価する　80 点

【6】 教科書

教科書なし
資料を配布する

【7】 参考書

1. 内田陽子：看護研究論文の書き方,照林社,2015.
2. 松本孚　森田夏実：看護のためのわかりやすいケーススタディの進め方,第 2 版,照林社,2014.
3. 國澤尚子　編：はじめて学ぶ ケーススタディ 第 2 版: 書き方のキホンから発表のコツまで, 総合医学社, 2020.
4. 松本孚　森田夏実：うまくいくケーススタディの進め方,プチナース,Vol23,No.3、2014.
5. 前田ひとみ：事例研究はじめの一歩,21-29,Clinical Study,Vol.33,No.8,2012.

【8】 受講生へのメッセージ

看護研究は、看護を発展させるために不可欠なものです。ケーススタディをとおして、看護研究はじめの一歩をふみだしましょう。